

異文化間理解講座

外国人社員も活躍できる環境づくり・コミュニケーションのコツ

主催:(公財)横浜市国際交流協会

企業において、文化・習慣やコミュニケーション方法の違いから生まれるトラブルを減らし、共に活躍できる環境作りのためには、日本人・外国人の相互理解が必要です。お互いが歩み寄り、円滑なコミュニケーションを図るための第一歩として、企業経営者・従業員(日本人)を対象とした異文化間理解講座「外国人社員も活躍できる！環境づくり・コミュニケーションのコツ」を実施しました。

横浜市委託事業 外国人材受け入れセミナー

外国人社員も活躍できる
環境づくり・コミュニケーションのコツ

外国人社員入社後、
どんな取り組みを
すればいい？

外国人社員が
理解しやすい
日本語って？

外国人雇用について
どこで相談できる？

【講義】

1 外国人社員受け入れのための取り組み
外国人社員の労働環境・相談体制の整備、育成計画など

2 外国人社員とのコミュニケーションのコツ
日本語教育・外国人社員が理解しやすい「やさしい日本語」
円滑なコミュニケーションのための注意点


前半では、外国人社員の異文化適応のプロセス、メンター制度や面談等を活用した外国人社員とのコミュニケーションの重要性について、理解を深めました。後半では、外国人社員に伝わりやすい「やさしい日本語」を紹介し、実際に仕事の指示を「やさしい日本語」に言い換える体験ワークを行いました。

受講者からは、日本で働くことについて「相手の立場になって知ることができた」との感想をいただきました。

内容	・外国人社員受け入れのための環境整備について ・外国人社員との円滑なコミュニケーションのコツ
講師	(株)One Terrace 採用支援事業部 大野 禎司 氏
日時／場所	2024年12月10日(火)14:00-15:30 オンライン
対象	横浜市内に事業所があり、外国人雇用をしている企業の方 外国人の雇用を検討している企業の方
参加人数	8人

参加者の声


講師:外国人社員の採用や定着・活躍支援を行う
(株)ワンテラスの大野さん

●日本語が難しいということを相手の立場に立って知ることができた。

●外国人社員の来日以降の感情の変化と、それに合わせた適切な対応が印象に残った。

●“平等”ではなく“公平”というのが印象的だった。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！


外国人従業員に伝わる！コミュニケーション講座

1 外国人社員受け入れの ための取組	外国人社員受け入れにあたり、コミュニケーションをしっかりとれるような環境づくりの例として、メンター制度や定期的な面談、グループチャットや雑談など具体的な例が紹介されました。 また、入社後3か月程度経過し、仕事に慣れてきた頃から、仕事での目標や長期的なキャリア形成について会社のビジョンと本人のイメージをすり合わせ、共有していくことも大切です。
2 外国人社員との コミュニケーションのコツ	1)外国人社員への日本語教育 2019年に施行された「日本語教育の推進に関する法律」の中で、事業主には外国人社員への日本語学習機会提供等の支援が求められています。日本語教育を行うことで、外国人社員とスムーズにコミュニケーションが取れるようになり、外国人・日本人双方が働きやすくなること、更に業務効率向上や社員の更なる活躍など、会社や働く人にとってよりよい環境づくりができます。大切なのは、日本語教育について企業が外国人社員と共に考えていくことです。
<u>「やさしい日本語」のポイントとは・・・</u> ①一文を短くする ②一文で伝えたいことは一つ ③簡単な表現を使う ④漢字にふりがなをつける ⑤分かち書きを使う 講師資料より	2)外国人社員に伝わりやすい「やさしい日本語」 外国人にとって日本語は難しい言語であること、その理由として「省略されている情報の推測」「オノマトペの多さ」「敬語」「漢字の読み方の多さ」などがあります。外国人社員にとって伝わりやすい「やさしい日本語」の表現として、「一文を短くする」「漢語は使わず簡単な表現に言い換える」などのポイントを紹介し、実際に参加者が「整理整頓」→「片づける」に言い換えるなどやさしい日本語の表現を考えてみました。円滑なコミュニケーションのためには、やさしい日本語の使用に加え、お互いに歩み寄る姿勢が非常に重要です。

コミュニケーションの機会としてランチ会などもよいとの話から、、



ランチに誘ったら、「**昼休みは仕事の時間ではない**」と言われてしまいました。このような場合どうしたらいいでしょう、、

「日本では、同じ会社の人達が一緒に食事する機会をもち、いろいろな話をして知り合うことで、より働きやすくなる」という考えがあるのを伝えてみてはどうでしょう。その際、こちら**も相手の文化・慣習を尊重**する気持ちが大切です。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

